社会福祉法人　印旛福祉会
いんば学舎・岩戸
オークン
令和8年度　第　8　号

2026年11月20日

【　岩戸　】
○ 地域生活支援センター一歩
○ 生活介護（あーす）
住 所：印西市岩戸1721
電 話：0476−99−3033
FAX：0476−85−7722

【　杏　】
○ 短期入所支援事業所　杏
住 所：印西市岩戸1343-1

【　相談　】
○ いんば障害者相談センター
住 所：印西市岩戸1343-1
電 話：0476−99−2501
FAX：0476−33−6024

朝晩の寒さは、一気に冬の兆しになってきました。
空気の乾燥も始まっていますので、うがい手洗いの徹底を気をつけてまいりましょう。



成年後見制度研修委員会(権利擁護委員会)

私たち成年後見制度研修委員会では、メンバー一人ひとりの権利や意思を大切にし、誰もが安心して自分らしく暮らし続けられるよう、成年後見制度や権利擁護について学び、理解を深めていきたいと考えています。特に、「親なき後」の暮らしについて、親御さんが元気でいらっしゃる今だからこそ、将来の生活や支援について一緒に考え、準備していくことが大切だと感じています。

ご本人やご家族が抱える不安や悩みに寄り添い、成年後見制度などの知識を深めながら、将来について安心して話し合える場、気軽に相談できる場をつくっていきたいと思います。

「親あるうちに、親なき後を考える」

そんな思いを大切にしながら、ご本人とご家族が将来に希望を持ち、安心して日々を過ごせるよう、委員会一同取り組んでまいります。

（あーす：H）
（いんば障害者相談センター：O）

生活介護(あーす)

今年は11月に入っても台風の影響などで雨が降る日が多く、冬野菜の準備もなかなか進まない状況です。そのせいかメンバーたちも雨が降らないと自主的に昼休みに外に出て遊具で遊んだり、近くの公園まで散歩に出掛けるようになりました。



雨の日の活動では、公園で集めたどんぐりや松ぼっくり、使わなくなったジーンズの生地などを活用し、リース作りを行っています。普段は捨ててしまいがちなサツマイモのツルを編み、自然の素材や身近な材料で飾り付けを楽しみながら、個性豊かな作品づくりに取り組んでいます。



また、今年度から始まったミュージックケアもメンバーたちのリフレッシュになっており、普段の活動では見れない一面をいつも見せてくれます。

畑では来年の春に収穫になる玉ねぎやスナップエンドウを植え、もう少しで畑が野菜で埋まるところまできました。しかし、気温は過ごしやすくなってきましたが雨が邪魔をしてきます。

最近では１０月末にサツマイモ(紅はるか)の収穫を行いました。１１月号のオークンが届く頃には甘みが増して販売できるようになっていると思うので是非ご賞味ください。

(あーす：H)



【あーすの新しいスタッフの紹介】

I・K さん

この様な仕事は初めてですが、楽しく癒されながら働かせてもらっています。わからない事だらけですが頑張りますのでよろしくお願いいたします。

一　歩

10 月のグループ外出では、草ぶえの丘へ出かけ、園内の散策や体育館での運動会を楽しみました。





午前中は快晴に恵まれ、アスレチックに挑戦したり、小動物を見学したり、ミニ鉄道に乗車して自然の中を走り抜けたりと、それぞれが思い思いの時間を過ごしました。自然の空気を感じながら、皆さんリラックスした表情で楽しんでいました。

午後からは、いよいよ紅白対抗の運動会がスタート！ラジオ体操で身体をほぐした後、玉入れや二人三脚、〇✕ゲーム、ボーリング、紅白リレーなど、さまざまな競技に挑戦しました。玉入れでは音楽に合わせて楽しそうに玉を投げ入れ、最後は皆で声を合わせて数を数えるなど、白熱した勝負となりました。

特に最後の紅白リレーでは、皆さん一段と気合が入り、普段はあまり走る姿を見ない方が軽快に走ったり、一人で最後まで走り切ったりと、普段とは違った意外な一面も見ることができました。皆さん真剣な表情で競技に取り組み、ゴールした後には達成感いっぱいの笑顔が見られました。

最後は手作りメダルで表彰式を行い、仲間からの拍手に嬉しそうな表情を浮かべる姿も印象的でした。自然の中での散策と、仲間と一緒に身体を動かす楽しさを存分に味わった、笑顔あふれる一日となりました。

（一歩：K）

杏

10 月末に２回、ハロウィンイベントを行いました。

当日利用のメンバーは杏に到着した時にスタッフからチケットを受け取り、



何をするのか知らせていなかった為、「何するの？」「早くやりたいな」と待ち遠しそうなメンバーたち。

イベントの時間になり、スタッフへチケットを渡すと、もらえたのはカップケーキのセット！！皆で卵・粉を混ぜ、ケーキ作りをしました。「こぼしそう・・・、そーっと・・・」と少し苦戦しながらも頑張って混ぜている様子が見られました。



レンジで温めると〝ふわぁ～〟とふくらみカップケーキの出来上がり！！時間が経つと少し硬めのケーキになってしまう為、出来立てのケーキに生クリームやトッピングのお菓子でデコレーションをしてタ飯の前にみんなで食べました。コップで一人分ずつ作れるため、自分で作る達成感もあったかと思います。終わった後も「楽しかった」「またやりたい」とスタッフに伝えてくれ、みんなにとって、楽しい思い出のひとつになったのだと感じました。これからも季節を感じられる工夫を取り入れながら、みんなで楽しめる時間を大切にしていきたいと思います。



（杏：M）